

「令和 8 年度教員の勤務実態調査結果」及び「令和 8 年度教職員 働き方改革アクションプラン取組状況調査結果」概要について

県教育委員会では、「教職員働き方改革アクションプラン」の進行管理のため、「教員の勤務実態調査」と「アクションプランの取組状況調査」を独自に実施している。今年度の 2 つの調査結果の概要については次のとおりである。（調査結果の詳細は別紙のとおり。）

1 「令和 8 年度教員の勤務実態調査」について

（1）プラン目標達成状況（仕事と私生活の両立等）

■ 仕事と私生活を両立できていると思う教職員の割合【継続】

→○成果：R 7 調査比で、全校種とも「感じる＋やや感じる」の割合増加。

●課題：校種別では中。「感じる＋やや感じる」が 50%未満。目標値（80%）と開き大。

	R 7 調査		R 8 調査	
	感じる＋やや感じる	どちらとも言えない	感じる＋やや感じる	どちらとも言えない
小学校（全体）	58.4%	19.2%	58.8% ↑	19.0%
中学校（全体）	46.7%	19.0%	49.2% ↑	20.1%
高校（全体）	55.0%	20.4%	58.4% ↑	18.4%
特支（全体）	68.6%	18.2%	70.3% ↑	16.3%

■ 授業の準備や自己研さんのための時間を確保できていると思う教職員の割合【継続】

→○成果：R 7 調査比で、中高特で「感じる＋やや感じる」の割合増加。

●課題：R 7 調査比で、小で「感じる＋やや感じる」の割合減少。

校種別では小中高。「感じる＋やや感じる」が 50%未満。目標値（80%）と開き大。

	R 7 調査		R 8 調査	
	感じる＋やや感じる	どちらとも言えない	感じる＋やや感じる	どちらとも言えない
小学校（全体）	41.9%	22.5%	40.4% ↓	21.6%
中学校（全体）	34.2%	22.2%	35.0% ↑	21.4%
高校（全体）	42.8%	22.4%	45.4% ↑	21.1%
特支（全体）	52.5%	25.6%	53.7% ↑	22.6%

■ どのような状態になれば教職員の働き方改革は進んだと思いますか。（仕事面）【継続】

→●課題：全校種で「授業の準備に十分な時間がとれる」や「調査への回答の負担が軽減される」状態を求めている。※各校種割合の高い上位 6 つの項目のみ表示。

	授業の準備 に十分な時 間がとれる	生徒と直接 向き合う時 間が十分と れる	調査への回 答の負担が 軽減される	保護者や地 域等の外部 の対応が少 なくなる	部活動の負 担が少なく なる	定時退勤で きる
小学校（全体）	83.0%	53.7%	67.7%	45.5%	0.0%	68.8%
中学校（全体）	74.1%	57.9%	65.5%	47.2%	58.4%	65.2%
高校（全体）	67.1%	57.3%	62.3%	34.5%	48.8%	50.9%
特支（全体）	79.0%	38.9%	59.5%	17.2%	7.9%	53.7%

(2) プランの目標達成状況（時間外勤務時間）

■ 月80時間超の教職員の割合【継続】

→○成果：全体では過去2年間と比較して減少傾向。全校種の「ゼロ」まであと一歩。

R7実績値の特支（教諭）は、R6に続き「ゼロ」を実現。

- 課題：特に小中の教頭。中は約3人に1人、小は約5人に1人が月80時間超。
依然として危機的状況にあり、早急に全体の割合をゼロにする必要あり。

	R 5 実績値	R 6 実績値	R 7 実績値	備考
小学校（全体）	1.5%	1.6%	1.3% ↓	実績値：年間の実績データから、1か月平均を算出。
中学校（全体）	6.9%	5.1%	3.7% ↓	
高校（全体）	7.0%	4.1%	3.7% ↓	
特支（全体）	0.7%	0.1%	0.1% →	

	R 5 実績値	R 6 実績値	R 7 実績値	備考
小学校（教頭）	24.1%	20.8%	18.1% ↓	実績値：年間の実績データから、1か月平均を算出。
中学校（教頭）	36.9%	30.8%	28.4% ↓	
高校（教頭）	15.4%	7.6%	6.9% ↓	
特支（教頭）	17.5%	2.3%	3.0% ↑	

	R 5 実績値	R 6 実績値	R 7 実績値	備考
小学校（教諭）	0.3%	0.3%	0.4% ↑	実績値：年間の実績データから、1か月平均を算出。
中学校（教諭）	4.6%	3.8%	3.4% ↓	
高校（教諭）	6.8%	4.3%	3.8% ↓	
特支（教諭）	0.1%	0.0%	0.0% →	

■ 月45時間超の教職員の割合【継続】

→○成果：月80時間と同様、全体では過去2年間と比較して減少傾向。

- 課題：校種別では小中高。中高は約3人に1人、小は約5人に1人が超。
職別では教頭。全校種で約10人に8人が超。

	R 5 実績値	R 6 実績値	R 7 実績値	備考
小学校（全体）	26.4%	23.2%	21.1% ↓	実績値：年間の実績データから、1か月平均を算出。
中学校（全体）	39.4%	34.6%	31.3% ↓	
高校（全体）	35.8%	32.4%	30.4% ↓	
特支（全体）	13.4%	7.1%	5.9% ↓	

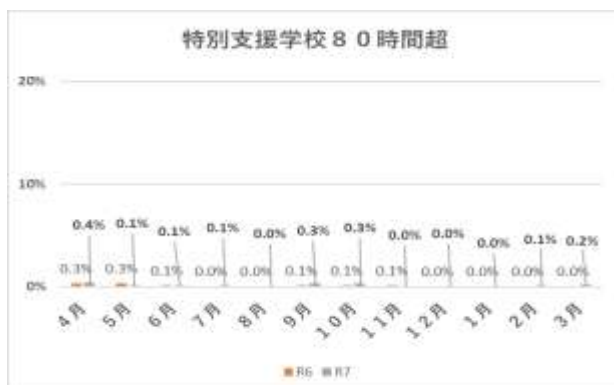
	R 5 実績値	R 6 実績値	R 7 実績値	備考
小学校（教頭）	77.9%	77.9%	75.3% ↓	実績値：年間の実績データから、1か月平均を算出。
中学校（教頭）	84.7%	82.5%	79.4% ↓	
高校（教頭）	78.3%	72.9%	74.5% ↑	
特支（教頭）	83.5%	78.3%	78.7% ↑	

	R 5 実績値	R 6 実績値	R 7 実績値	備考
小学校（教諭）	22.8%	21.7%	20.8% ↓	実績値：年間の 実績データから、 1か月平均を算出。
中学校（教諭）	37.7%	34.9%	33.5% ↓	
高校（教諭）	34.2%	32.6%	30.2% ↓	
特支（教諭）	10.8%	5.7%	4.2% ↓	

■ 年間実績値の月別状況【継続】

→○成果：月80・45時間超の割合とも、夏期休業中は低い。

●課題：月45時間超の割合は、4月～6月、9月～11月が高い。



■ 職種別にみる時間外勤務時間の状況【新規】

→○成果：全校種及び全職種の平均時間外勤務時間は３２時間３７分で、国が示す月平均
３０時間程度までの削減目標まで到達間近である。

（時間外勤務時間：市町村立学校３３時間２８分、県立学校３０時間３８分）

●課題：全校種及び全職種で、教頭の時間外勤務の削減が急務。教頭が月平均４５時間
を下回るには、１日あたり、小５５分、中７０分、高４０分、特４５分の削減が必要。
（教諭が月平均３０時間を下回るには、小１０分、中高２０分の削減が必要）

小学校・義務教育学校前期

	全体	校長	副校長・ 教頭	主幹教 諭・教諭	講師	養護教諭
4月	41:35	41:21	79:43	40:34	31:22	26:03
5月	42:00	40:01	78:16	41:16	31:31	27:47
6月	40:30	38:48	77:03	39:47	30:45	25:03
7月	28:37	27:45	56:11	28:09	20:53	16:39
8月	10:53	11:59	23:13	10:27	8:05	6:16
9月	36:23	35:42	68:04	35:52	28:01	20:44
10月	39:07	39:25	72:06	38:50	29:15	22:50
11月	30:33	31:46	58:46	29:59	22:50	17:00
12月	28:19	27:58	53:44	27:58	21:40	15:23
1月	26:26	29:02	52:15	25:36	19:24	16:01
2月	31:59	32:15	61:18	31:35	22:37	18:33
3月	34:08	33:32	63:29	33:52	24:36	19:28
月平均	32:33	32:28	62:01	32:00	24:15	19:19

中学校・義務教育学校後期

	全体	校長	副校長・ 教頭	主幹教 諭・教諭	講師	養護教諭
4月	43:43	39:04	85:40	43:03	33:31	27:30
5月	43:55	38:58	80:19	43:18	35:07	28:45
6月	43:05	38:41	81:02	42:58	33:23	24:54
7月	34:03	29:39	65:16	33:57	26:34	20:20
8月	13:18	13:33	26:49	13:01	10:37	6:47
9月	39:15	35:09	71:59	39:17	30:50	21:59
10月	45:13	40:27	75:20	45:39	36:21	26:45
11月	33:42	30:54	63:22	33:32	27:49	16:28
12月	32:04	28:53	62:07	31:42	27:09	16:23
1月	29:28	27:06	57:52	29:03	24:15	14:03
2月	32:25	30:40	63:47	31:56	25:37	16:59
3月	33:45	34:19	71:08	32:54	24:55	18:13
月平均	35:20	32:17	67:03	35:02	28:01	19:56

高等学校

	全体	校長	副校長・ 教頭	教諭	講師	養護教諭
4月	40:04	32:42	64:24	39:58	34:19	32:06
5月	42:21	33:24	62:22	42:36	37:28	28:50
6月	41:06	35:53	65:11	41:06	35:42	27:25
7月	39:51	30:50	60:24	40:28	31:44	46:29
8月	26:35	18:42	35:46	27:07	23:57	12:59
9月	39:38	33:26	60:00	39:51	33:32	24:59
10月	43:57	41:31	67:50	43:35	36:20	25:04
11月	33:44	29:30	54:05	33:54	27:26	18:59
12月	30:52	26:47	52:17	30:47	26:29	17:26
1月	30:16	25:05	52:11	30:17	23:55	18:40
2月	27:37	26:29	54:03	27:11	21:51	17:08
3月	30:52	26:47	52:17	30:47	26:29	17:26
月平均	35:34	30:05	56:44	35:38	29:56	23:57

特別支援学校

	全体	校長	副校長・ 教頭	教諭	講師	養護教諭
4月	27:23	36:02	71:44	27:37	19:39	20:40
5月	25:56	32:39	65:03	25:57	20:06	18:22
6月	25:56	33:28	67:36	25:51	20:04	16:51
7月	19:52	33:37	58:45	19:34	14:47	12:49
8月	6:15	14:19	27:40	5:46	4:25	4:36
9月	23:23	37:43	64:08	22:57	17:41	21:46
10月	26:18	40:57	66:04	26:10	20:21	17:32
11月	19:34	27:59	55:50	19:24	14:34	11:49
12月	19:56	29:58	58:05	19:44	14:42	12:04
1月	18:05	26:29	54:18	17:39	13:57	12:35
2月	20:09	30:11	59:54	19:51	15:00	13:22
3月	19:00	34:00	63:51	18:43	12:26	13:39
月平均	20:58	31:26	59:24	20:46	15:38	14:40

（参考）月平均４５時間を下回るために必要な１日あたりの削減時間

小学校・義務教育学校前期

	全体	校長	副校長・ 教頭	主幹教 諭・教諭	講師	養護教諭
月平均	32:33	32:28	62:01	32:00	24:15	19:19
0:05	30:53	30:48	60:21	30:20	22:35	17:39
0:10	29:13	29:08	58:41	28:40	20:55	15:59
0:15	27:33	27:28	57:01	27:00	19:15	14:19
0:20	25:53	25:48	55:21	25:20	17:35	12:39
0:25	24:13	24:08	53:41	23:40	15:55	10:59
0:30	22:33	22:28	52:01	22:00	14:15	9:19
0:35	20:53	20:48	50:21	20:20	12:35	7:39
0:40	19:13	19:08	48:41	18:40	10:55	5:59
0:45	17:33	17:28	47:01	17:00	9:15	4:19
0:50	15:53	15:48	45:21	15:20	7:35	2:39
0:55	14:13	14:08	43:41	13:40	5:55	0:59

中学校・義務教育学校後期

	全体	校長	副校長・ 教頭	主幹教 諭・教諭	講師	養護教諭
月平均	35:20	32:17	67:03	35:02	28:01	19:56
0:05	33:40	30:37	65:23	33:22	26:21	18:16
0:10	32:00	28:57	63:43	31:42	24:41	16:36
0:15	30:20	27:17	62:03	30:02	23:01	14:56
0:20	28:40	25:37	60:23	28:22	21:21	13:16
0:25	27:00	23:57	58:43	26:42	19:41	11:36
0:30	25:20	22:17	57:03	25:02	18:01	9:56
0:35	23:40	20:37	55:23	23:22	16:21	8:16
0:40	22:00	18:57	53:43	21:42	14:41	6:36
0:45	20:20	17:17	52:03	20:02	13:01	4:56
0:50	18:40	15:37	50:23	18:22	11:21	3:16
0:55	17:00	13:57	48:43	16:42	9:41	1:36
1:00	15:20	12:17	47:03	15:02	8:01	
1:05	13:40	10:37	45:23	13:22	6:21	
1:10	12:00	8:57	43:43	11:42	4:41	

高等学校

	全体	校長	副校長・ 教頭	教諭	講師	養護教諭
月平均	35:34	30:05	56:44	35:38	29:56	23:57
0:05	33:54	28:25	55:04	33:58	28:16	22:17
0:10	32:14	26:45	53:24	32:18	26:36	20:37
0:15	30:34	25:05	51:44	30:38	24:56	18:57
0:20	28:54	23:25	50:04	28:58	23:16	17:17
0:25	27:14	21:45	48:24	27:18	21:36	15:37
0:30	25:34	20:05	46:44	25:38	19:56	13:57
0:35	23:54	18:25	45:04	23:58	18:16	12:17
0:40	22:14	16:45	43:24	22:18	16:36	10:37

特別支援学校

	全体	校長	副校長・ 教頭	教諭	講師	養護教諭
月平均	20:58	31:26	59:24	20:46	15:38	14:40
0:05	19:17	29:46	57:44	19:06	13:58	13:00
0:10	17:37	28:06	56:04	17:26	12:18	11:20
0:15	15:57	26:26	54:24	15:46	10:38	9:40
0:20	14:17	24:46	52:44	14:06	8:58	8:00
0:25	12:37	23:06	51:04	12:26	7:18	6:20
0:30	10:57	21:26	49:24	10:46	5:38	4:40
0:35	9:17	19:46	47:44	9:06	3:58	3:00
0:40	7:37	18:06	46:04	7:26	2:18	1:20
0:45	5:58	16:26	44:24	5:46	0:38	

■ 学校が設定した休憩時間（計４５分）に休憩したおおよその時間【継続】

→●課題：高以外で、休憩時間に休憩した時間が、設定の約３分の１以下。

	R 7 調査 平均取得時間	R 8 調査 平均取得時間	備考
小学校（全体）	１０分	９分	・ R 7 調査から取得時間（５分刻み）ごとの取得者割合に変更。 ・ 各取得時間の区分の真ん中の値と割合から平均取得時間を算出。
中学校（全体）	１２分	１２分	
高校（全体）	２４分	２５分	
特支（全体）	１５分	１６分	

■ 平日の正規の勤務時間外に部活動（※小は特別クラブ）に従事した時間【継続】

→●課題：中高で約半数の職員が平均で１日１時間以上従事している。

※従事時間の区分をみた場合、区分ごとにばらつきがある。

	R 7 調査		R 8 調査		備考
	従事割合	平均従事時間 （１日あたり）	従事割合	平均従事時間 （１日あたり）	
小学校（全体）	3.0%	３６分	3.5%	３３分	・ R 7 調査から従事時間（３０分刻み）ごとの従事者割合に変更。 ・ 各従事時間の区分の真ん中の値と割合から平均従事時間を算出。
中学校（全体）	51.9%	１時間１６分	50.2%	１時間１３分	
高校（全体）	46.4%	１時間２４分	40.9%	１時間０２分	
特支（全体）	1.7%	３６分	1.4%	２８分	

■ 週休日に部活動（※小は特別クラブ）に従事した時間【継続】

→●課題：中は約３人に１人、高は約４人に１人が平均で１日約３時間従事している。

※従事時間の区分をみた場合、区分ごとにばらつきがある。

	R 7 調査		R 8 調査		備考
	従事割合	平均従事時間 （１日あたり）	従事割合	平均従事時間 （１日あたり）	
小学校（全体）	2.9%	２時間３０分	3.5%	２時間０３分	・ R 7 調査から従事時間（３０分刻み）ごとの従事割合に変更。 ・ 各従事時間の区分の真ん中の値と割合から平均従事時間を算出。
中学校（全体）	29.1%	３時間	26.2%	３時間０９分	
高校（全体）	25.4%	２時間５３分	23.8%	３時間１５分	
特支（全体）	0.5%	３６分	0.4%	２４分	

■ 平日に自宅等に持ち帰り行った業務に費やしたおおよその時間【継続】

→●課題：小は約５０％、中は約３５％、高は３０％、特は約２３％が、平日に自宅等で業務に従事している。

	R 7 調査		R 8 調査		備考
	従事割合	平均従事時間 （１日あたり）	従事割合	平均従事時間 （１日あたり）	
小学校（全体）	48.5%	１１分	48.1%	１１分	・ R 7 調査から従事時間（１５分刻み）ごとの従事者割合に変更。 ・ 各従事時間の区分の真ん中の値と割合から平均従事時間を算出。
中学校（全体）	35.6%	１３分	34.1%	１３分	
高校（全体）	31.3%	１４分	30.0%	１４分	
特支（全体）	26.6%	１０分	22.7%	１０分	

■ 週休日に自宅等に持ち帰り行った業務に費やしたおおよその時間【継続】

→●課題：全校種で従事者の割合は同様の傾向だが、週休日の自宅等での業務従事時間は平日よりも長い傾向にある。

	R 7 調査		R 8 調査		備考
	従事割合	平均従事時間 (1日あたり)	従事割合	平均従事時間 (1日あたり)	
小学校(全体)	45.7%	4 3 分	48.1%	4 2 分	・ R 7 調査から従事時間(15分刻み)ごとの従事者割合に変更。 ・ 各従事時間の区分の真ん中の値と割合から平均従事時間を算出。
中学校(全体)	35.6%	4 9 分	34.1%	4 9 分	
高校(全体)	32.3%	5 0 分	32.3%	4 9 分	
特支(全体)	26.0%	3 6 分	24.5%	4 9 分	

■ 平日に自宅等に持ち帰り行った業務【新規】

→●課題：平日では、全校種で授業準備が最も多い。

平日の持ち帰り業務

	小学校(全体)	中学校(全体)	高校(全体)	特支(全体)
1	授業準備 79.9%	授業準備 69.6%	授業準備 69.2%	授業準備 84.8%
2	成績処理 17.1%	成績処理 16.8%	成績処理 13.8%	学校運営 6.6%
3	学習指導 14.4%	学習指導 14.5%	学習指導 11.5%	校内研修 4.1%
4	学年・学級経営 12.8%	学年・学級経営 9.3%	学校運営 7.5%	学習指導 3.7%
5	学校運営 7.4%	学校運営 7.7%	部活動 6.9%	成績処理 3.5%

※各校種毎に割合の高い順。

※学校運営とは、学級経営以外に校務分掌で割り当てられた教務部等各部での校務を指す。

■ 週休日に自宅等に持ち帰り行った業務【新規】

→●課題：休日でも、全校種で授業準備が最も多い。

週休日の持ち帰り業務

	小学校(全体)	中学校(全体)	高校(全体)	特支(全体)
1	授業準備 71.3%	授業準備 61.4%	授業準備 64.6%	授業準備 82.3%
2	成績処理 21.7%	成績処理 20.7%	成績処理 17.4%	学校運営 6.1%
3	学年・学級経営 20.1%	学習指導 13.9%	学習指導 10.6%	学習指導 5.4%
4	学習指導 14.2%	学年・学級経営 13.0%	部活動 9.3%	校内研修 4.4%
5	学校運営 10.6%	部活動 10.9%	学校運営 8.1%	学校行事 4.2%

※各校種毎に割合の高い順。

※学校運営とは、学級経営以外に校務分掌で割り当てられた教務部等各部での校務を指す。

2 「令和8年度教職員働き方改革アクションプラン取組状況調査」について

(1) 市町村立学校・県立学校共通取組テーマ

■ チーム学校の構築 [継続]

→○成果：前年度比で「整備されていない」割合が若干増加したものの、概ね90%以上の学校で、専門スタッフによる「チーム学校」を構築。

○成果：全ての校種でスクール・ロイヤーが問題解決に寄与。

●課題：会計補助・データ入力・文書收受・校舎の解錠や施錠・メールの振り分けの業務面で、スクール・サポート・スタッフの更なる活用。

●課題：スクール・ロイヤーの更なる周知・活用。

Q. 専門スタッフとの連携を図り、業務を分担して対応できる体制は整備されていますか。

	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
1 整備されている	92.6%	96.2%	95.0%	96.0%	88.5%
2 整備されていない	7.4%	3.8%	5.0%	4.0%	11.5%

Q. ご自身が受け持つ業務において、専門スタッフに依頼することで教員の負担軽減にさらにつながる業務を選んでください（複数回答）

	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
1 印刷業務	75.3%	79.0%	70.0%	80.0%	46.2%
2 掲示作業	61.7%	57.1%	70.0%	62.7%	30.8%
3 清掃	46.9%	50.5%	60.0%	52.0%	53.8%
4 給食指導補助	29.6%	30.5%	30.0%	0.0%	15.4%
5 会計補助	25.9%	24.8%	35.0%	36.0%	42.3%
6 データ入力	46.9%	41.9%	15.0%	36.0%	38.5%
7 文書收受	43.2%	41.9%	40.0%	48.0%	69.2%
8 校舎の解錠や施錠	33.3%	40.0%	45.0%	36.0%	53.8%
9 受信メールの振り分け	29.6%	32.4%	30.0%	33.3%	38.5%

Q. スクール・ロイヤーの活用により、問題解決に向けた法的助言は役立ちましたか。

	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
1 大変役に立った	75.0%	50.0%	75.0%	78.6%	100.0%
2 まあまあ役に立った	25.0%	37.5%	0.0%	21.4%	0.0%
3 あまり役に立たなかった	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
4 まったく役に立たなかった	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%

※小中義では、各市町村が配置しているスクール・ロイヤーを含む。

Q. 「チーム学校」の構築につながっている専門スタッフを選択してください。（複数回答）

	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
1 スクール・サポート・スタッフ	92.0%	97.0%	78.9%	94.7%	84.6%
2 スクール・カウンセラー	84.0%	97.0%	100.0%	100.0%	30.8%
3 スクール・ソーシャル・ワーカー	54.7%	66.3%	84.2%	70.7%	34.6%
4 ICT支援員	88.0%	92.1%	89.5%	74.7%	88.5%
5 スクール・ロイヤー	13.3%	7.9%	21.1%	9.3%	3.8%

■ 各学校の教育課程の見直し【継続】

→○成果：全校種で、標準時数（または週30単位時間）での実施に向けた対応が完了（対応中の学校を含む）。

Q. 授業時数を点検したうえで、週当たりの授業時数について30単位時間で教育課程を実施することを標準として、教育課程の見直しを検討していますか。

	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
1 すでに見直した	75.3%	58.0%	70.0%	40.0%	65.4%
2 見直しを行う予定である （昨年度からの継続を含む）	13.6%	21.0%	15.0%	8.0%	11.5%
4 すでに標準時数を原則として 編成している	11.1%	21.0%	15.0%	52.0%	23.1%
3 見直す予定はない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

■ 業務分担の見直しによる負担の平準化【継続】

→○成果：全校種で複数担任制やチーム担任制の「導入を検討している」割合が増加。

●課題：全校種で複数担任制やチーム担任制の「導入予定はない」の割合も増加。

Q. 業務を適切に分担するため、複数担任制やチーム担任制など担任制の在り方に係る取組を行っていますか。

	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
1 複数担任制やチーム担任制を導入している	12.3%	8.6%	15.0%	4.0%	0.0%
2 導入を検討している	21.0%	15.2%	15.0%	8.0%	3.8%
3 導入予定はない	66.7%	76.2%	70.0%	88.0%	96.2%

■ 教育・校務のDX化の推進【継続】

→○成果：県教委が発出する依頼や調査について、概ね負担軽減の配慮を感じている。

○成果：県教委主催の会議や研修会について、70%以上が精選は進んでいると認識。

●課題：fcsの共有ドライブの活用について、更なる改善が必要。

Q. 県教育委員会が発出する依頼や調査事項は、回答のフォーム化や添書不要など、負担軽減に配慮されていると思いますか。

	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
1 大変配慮されている	12.3%	8.6%	25.0%	2.7%	7.7%
2 配慮されている	64.2%	72.4%	60.0%	69.3%	73.1%
3 あまり配慮されていない	19.8%	18.0%	15.0%	24.0%	19.2%
4 全く配慮されていない	3.7%	1.0%	0.0%	4.0%	0.0%

Q. 県教育委員会が主催する会議や研修会の精選（回数削減、オンライン開催への変更を含む）は進んでいると思いますか。

	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
1 大変進んでいる	8.6%	1.9%	10.0%	1.3%	0.0%
2 進んでいる	66.7%	72.4%	65.0%	74.7%	88.5%
3 あまり進んでいない	23.5%	25.7%	25.0%	24.0%	11.5%
4 進んでいない	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

Q. 県教育委員会から発出される通知の見直しに係る fcs 共有ドライブの活用により収受文書の処理の負担は軽減につながっていますか。

	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
1 軽減につながっている	6.2%	6.7%	15.0%	5.3%	11.5%
2 ある程度軽減につながっている	61.7%	57.1%	45.0%	42.7%	46.2%
3 あまり軽減につながっていない	28.4%	30.5%	40.0%	44.0%	34.6%
4 軽減につながっていない	3.7%	5.7%	0.0%	8.0%	7.7%

■ マネジメント体制の強化 [継続]

→○成果：概ね全ての校種で 19 時 15 分以前に施錠する学校の割合が大きく増加。

- 課題：小中義で施錠・解錠時刻を設定していない学校の割合が多い。
- 課題：6 時台に解錠している学校、19 時 15 分以降に施錠している学校があること。
- 課題：全校種で昨年と比べて施錠・解錠時刻の遵守が必要。

Q. 学校の施錠・解錠時刻を設定していますか。（※夜間中学校・定時制を除く）

	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
1 設定している	55.6%	31.4%	60.0%	97.3%	100.0%
2 設定していない	44.4%	68.6%	40.0%	2.7%	0.0%

Q. 学校の解錠・施錠時刻を設定している学校において、解錠・施錠時刻を何時に設定していますか。

解錠時刻	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
6:15~6:30	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6:30~6:45	11.1%	9.0%	16.7%	3.0%	0.0%
6:45~7:00	22.2%	6.1%	0.0%	4.5%	11.5%
7:00~7:15	44.4%	51.5%	50.0%	77.3%	80.8%
7:15~7:30	9.0%	15.2%	0.0%	6.1%	0.0%
7:30~7:45	11.1%	18.2%	33.3%	9.1%	7.7%

施錠時刻	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
~18:00	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%
18:00~18:15	13.4%	9.2%	0.0%	1.5%	7.7%
18:15~18:30	0.0%	3.0%	0.0%	9.0%	15.4%
18:30~18:45	20.0%	3.0%	16.7%	1.5%	0.0%
18:45~19:00	0.0%	0.0%	0.0%	10.4%	7.7%
19:00~19:15	51.1%	21.2%	33.3%	61.2%	65.4%
19:15~19:30	2.2%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%
19:30~19:45	13.3%	21.2%	33.3%	11.9%	3.8%
19:45~20:00	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20:00~20:15	0.0%	36.4%	16.7%	0.0%	0.0%
20:15~20:30	0.0%	3.0%	0.0%	1.5%	0.0%
20:30~20:45	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

Q. 設定した 施錠・解錠時刻は遵守できていますか。

	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
1 できている	2.2%	6.1%	0.0%	21.3%	7.7%
2 おおむねできている	57.8%	57.6%	25.0%	48.0%	69.3%
3 あまりできていない	35.6%	27.2%	58.3%	22.7%	19.2%
4 できていない	4.4%	9.1%	16.7%	8.0%	3.8%

■ 持続可能な部活動運営（①活動計画の作成と家庭への周知）[継続]

→○成果：中は90%以上が家庭に周知。

●課題：小義高特は家庭に周知していない割合が依然として高いこと。

Q. 各部活動の年間活動計画及び部活動休養日等を示した毎月の活動計画を作成し、家庭に周知していますか。

	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
1 周知している	38.3%	94.3%	70.0%	76.0%	50.0%
2 周知していない	61.7%	5.7%	30.0%	24.0%	50.0%

■ 持続可能な部活動運営（②部活動休養日の徹底）[継続]

→○成果：中義特は90%以上が部活動休養日を確実に実施。

●課題：小高は20%以上が部活動休養日を徹底できていないこと。

Q. 部活動休養日（高等学校：平日1日及び土日いずれかを月2日以上 中学校：平日週1日及び土日いずれかを週1日以上）を徹底できましたか。

	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
1 できた	78.8%	98.1%	100.0%	74.0%	93.3%
2 できなかった	21.2%	1.9%	0.0%	26.0%	6.7%

■ 持続可能な部活動運営（③部活動活動上限時間の徹底）[継続]

→○成果：中義は95%以上が部活動上限時間を遵守。

●課題：小は約20%、高特は約30%が徹底できていないこと。

●課題：部活動休養日を徹底できなかった理由及び部活動の上限時間を遵守できなかった理由の背景として、大会日程の過密あり。

Q. 部活動練習時間上限（平日2時間、学校の休業日3時間）を徹底できましたか。

	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
1 できた	78.8%	96.1%	100.0%	67.1%	67.1%
2 できなかった	21.2%	3.9%	0.0%	32.9%	32.9%

Q. 部活動休養日を徹底できなかった理由を教えてください。（※表より一部抜粋）

	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
1 大会等の日程が過密であった	—	100.0%	—	36.8%	0.0%
2 年間をオンシーズン、オフシーズンに分け、均すと週2日になるように休養日を設定している。	—	0.0%	—	42.1%	0.0%

Q. 部活動練習時間を徹底できなかった理由を教えてください。(※表より一部抜粋)

	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
1 大会等の日程が過密であったため。	—	100.0%	—	66.7%	100.0%

■ 持続可能な部活動運営（④競技団体等による大会等の精選）〔継続〕

→○成果：小中義の約 60%・特の 100%が、競技団体等による大会等の精選状況进行评估。

●課題：高の割合が高い。(約 57%が競技団体等による精選が進んでいないと回答。)

Q. 各部活動等において、競技団体等による大会等の精選等が進んでいると思いますか。

	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
1 精選が進んでいると思う	33.3%	8.8%	21.5%	10.9%	71.4%
2 少しずつ精選が進んでいると思う	39.4%	52.0%	35.7%	30.4%	28.6%
3 あまり精選が進んでいないと思う	6.1%	30.4%	21.4%	43.5%	0.0%
4 まったく精選が進んでいないと思う	0.0%	8.8%	14.3%	13.0%	0.0%
5 本校には部活動がない	21.2%	0.0%	7.1%	2.2%	0.0%

■ 持続可能な部活動運営（⑤各校における参加大会等の精選）〔継続〕

→○成果：小中義特は 75%以上が、各校における参加大会等の精選状況进行评估。

●課題：高の割合が高い。(49%が、自校の参加大会等の精選が進んでいないと回答。)

Q. 学校において、参加する大会等への精選は進んでいると思いますか。

	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
1 精選が進んでいると感じる	39.4%	14.7%	28.6%	16.3%	85.7%
2 少しずつ精選が進んでいると感じる	39.4%	59.8%	64.3%	32.7%	14.3%
3 あまり精選が進んでいないと感じる	0.0%	21.6%	7.1%	44.9%	0.0%
4 まったく精選が進んでいないと感じる	0.0%	3.9%	0.0%	4.1%	0.0%
5 本校には部活動がない	21.2%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%

■ 地域・保護者への理解の醸成〔継続〕

→○成果：概ね全ての校種で、地域や保護者と連携する取組を行っている。

Q. 地域の方々や保護者と連携を深めながら教職員の働き方改革に資する取組を行っていますか。

(例) 大会参加の際、生徒の現地集合、地域ボランティア参加の際の主催者による生徒への連絡

	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
1 行っている	74.1%	91.4%	85.0%	90.7%	61.5%
2 行っていない	25.9%	8.6%	15.0%	9.3%	38.5%

(2) 校種別取組テーマ (市町村立学校)

■ 「業務量管理・健康確保措置実施計画」の教職員への周知状況 [新規]

→●課題：小中義とも教職員への周知が100%に至っていない状況。

Q. 各市町村教育委員会が策定する「業務量管理・健康確保措置実施計画」を教職員に周知していますか。

	小学校	中学校	義務教育学校
1 周知した	81.5%	75.5%	85.0%
2 周知していない	18.5%	24.5%	15.0%

■ 各学校での取組における保護者や地域への周知状況 [継続]

→●課題：中では約40%が周知していない。

Q. 各学校における具体的な働き方改革の取組を保護者や地域に周知していますか。

	小学校	中学校	義務教育学校
1 周知した	81.5%	59.8%	70.0%
2 周知していない	18.5%	40.2%	30.0%

(3) 校種別取組テーマ (県立学校)

■ デジタル採点システムの活用 [継続]

→○成果：高は約8割の学校が活用し、うち3～5割で採点業務の負担が軽減。

Q. デジタル採点システムを活用していますか。

	高等学校
1 活用している	78.7%
2 活用していない	21.3%

Q. 採点にかかる時間はどのくらい削減されたと感じますか。

	高等学校
1 15%程度	11.9%
2 30%程度	42.3%
3 45%程度	30.5%
4 60%程度	8.5%
5 75%程度	6.8%

■ 設定した施錠時間を超えて業務を行う際の手続き体制 [継続]

→○成果：特は100%の学校が整備。

●課題：高には一部整えていない学校がある。

Q. 設定した施錠時刻を超えて業務を行う際の手続き体制を整えましたか。

	高等学校	特別支援学校
1 整えた	86.7%	100.0%
2 整えていない	13.3%	0.0%

■ 上限を上回った場合の事後検証の実施〔継続〕

→●課題：高では、年 180 時間超過の際の注意喚起をしていない学校がある。

高特では、月 80 時間超の際の個別面談を速やかに実施していない学校がある。

Q. 今年度すでに時間外勤務時間が合計 180 時間を超えた教職員に対し、年間 360 時間を超えることのないよう教職員の業務遂行の状況等の確認や注意喚起を行いましたか。

	高等学校	特別支援学校
1 行った	44.0%	0.0%
2 行っていない	10.7%	3.8%
3 該当する教職員はいなかった	45.3%	96.2%

Q. 月 80 時間を超える時間外勤務を行った教職員に対してその都度面談を行っていますか。

	高等学校	特別支援学校
1 行った	66.7%	0.0%
2 行っていない	5.3%	0.0%
3 該当する教職員はいなかった	28.0%	100.0%

3 教職員と児童生徒の well-being の実現を目指して

- 「教員の勤務実態調査」の結果から、全ての校種で「仕事と私生活を両立できている」と思う教職員の割合が昨年度の調査に続き増加したこと、また、「時間外勤務時間が月 45 時間超の教職員の割合」が昨年度の調査に続き減少したこと、さらに全ての校種・職種の平均時間外勤務時間は 32 時間 37 分で、国が示す月平均 30 時間程度までの削減目標に到達間近であることが主な成果としてあげられる。

「アクションプラン取組状況調査」の結果とあわせてみると、チーム学校の構築や教育課程の見直し等、アクションプランに掲げた取組が着実に進んでいることにより、時間外勤務時間の減少や仕事と私生活の両立につながったのではないかと考えられる。

- 一方、「時間外勤務時間が月 80 時間超の教職員の割合」が昨年度の調査に続き減少したものの、早急にゼロにする必要がある危機的な状況であること、教員の勤務実態調査の結果からは、全ての校種で「授業の準備に十分な時間がとれる」状態になれば教職員の働き方改革が進んだと回答する教職員の割合が昨年度の調査に続き高いこと、また、教頭については全ての校種で「時間外勤務時間が月 45 時間超の割合」が減少傾向にあるものの依然として高いことが主な課題としてあげられる。

「アクションプラン取組状況調査」の結果をあわせてみると、部活動の活動上限時間の徹底が不十分であることや学校の解錠・施錠時刻の適切な時刻の設定ができていないこと等、アクションプランに掲げた取組が十分ではない部分が要因であると考えられる。

- 今般の調査結果を踏まえ、県教育委員会の業務量管理・健康確保措置実施計画として位置づけたアクションプランの取組や実施方法等の見直しを図り、児童生徒の健やかな成長と自己実現のため、引き続き、市町村教育委員会等と一体となって、教職員が仕事と私生活を両立させ、健康で、やりがいと達成感を持って働くことができる持続可能な教育環境の構築を図ってまいります。

(問い合わせ先) 教育庁職員課 主幹兼副課長 小原英男

[電話] 024-521-7781・7789 [内線] 5162・5147